

スーパーオイルポンプキット 取扱説明書

(遠心強化クラッチ取付車両用)

製品番号	01-16-0054 (ドリルドライバーセット無し)
	01-16-0055 (ドリルドライバーセット付)

適応車種及び フレーム番号	モンキー (Z50J-1000001 ~ 1805927)
	ダックス 50 (ST50-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆正しく安全にご使用頂くために☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎このキットは、取り付け時にR. クランクケースのオリフィス穴加工が必要となります。シリンダーヘッドまわりのオイル量を確保する為に必ず行って下さい。
- ◎弊社製旧スペシャルクラッチをご使用の場合、オイルポンプスクリューとクラッチカバーが干渉する為、カバー内部の加工が必要となりますのでご注意ください。
但し、弊社出荷時より加工済の場合は、そのまま使用出来ます。
- ◎当説明書は、シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンを取り外した状態での作業を記します。エンジンやシリンダーヘッド等の脱着は純正サービスマニュアル、キット取り付け時は弊社製シリンダーヘッド及びシリンダーキットの取り付け要領を参照し確実に行ってください。
- ◎製品取付け時、必ず各部品の点検作業を行ってください。損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行ってください。
- ◎当製品には、取り付けの際に必要なR. クランクケースカバーガスケット (弊社品番: 00-01-0095) は含まれておりませんので別途お買い求め下さい。

～特 徴～

排気量アップや高回転化に伴いエンジンの発熱量も増大します。S.T.D. オイルポンプでは、容量が小さく対応しきれなくなる為より容量の大きなオイルポンプが必要不可欠です。スーパーオイルポンプは、6V S.T.D. オイルポンプに対し3倍の大容量を持つオイルポンプです。吐出量増大によりエンジン各部の冷却及び潤滑効果をアップさせます。弊社製オイルクーラーとの相乗効果を高めるにはこの大容量オイルポンプ“スーパーオイルポンプ”に交換が必要です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

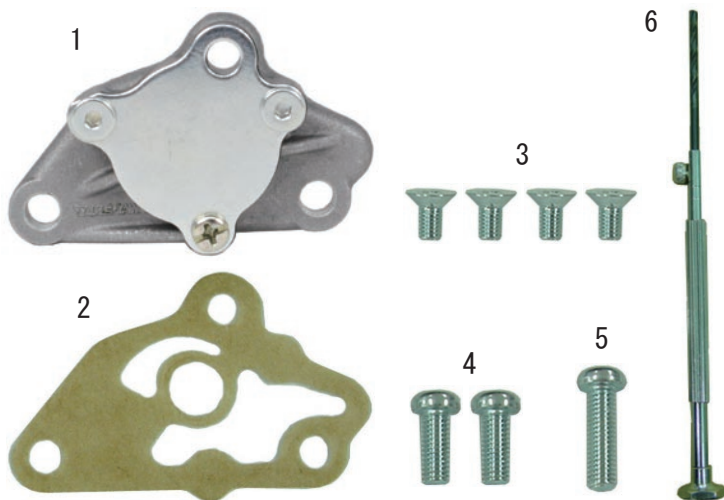
- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- クランクケースの加工を行う際は、保護メガネ、手袋を着用し目や手を保護した状態で行ってください。
- オイルポンプボディガスケットは、必ず付属のガスケットを使用して下さい。
(異なったガスケットを使用した場合、オイルが循環せずエンジン焼き付き等の原因となる場合があります。)
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

製品内容



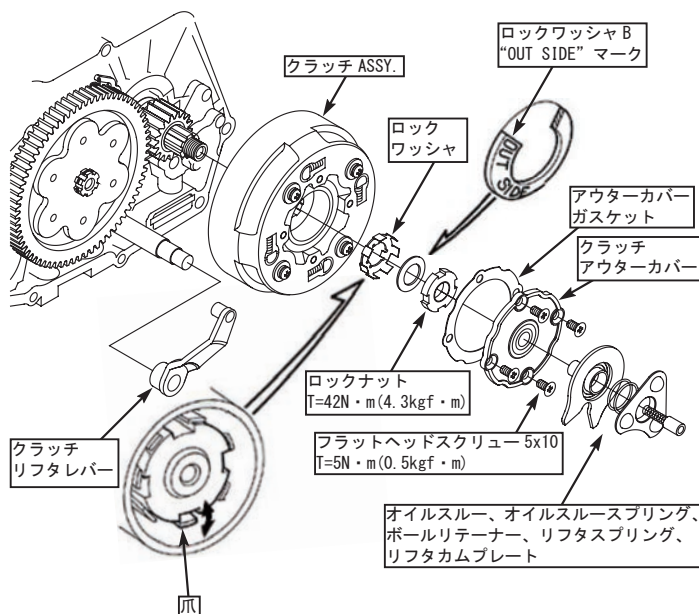
番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	オイルポンプ ASSY.	1	
2	オイルポンプボディガスケット	1	00-01-0042
3	フラットヘッドスクリュー 5x10	4	00-00-2778 (4ヶ入り)
4	パンスクリュー 6x16	2	00-00-0207 (4ヶ入り)
5	パンスクリュー 6x22	1	00-00-0208 (4ヶ入り)
6	ミニチュアドリルドライバーセット	1	07744-181-T00

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。
予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※01-16-0054には部品番号6は含まれません。

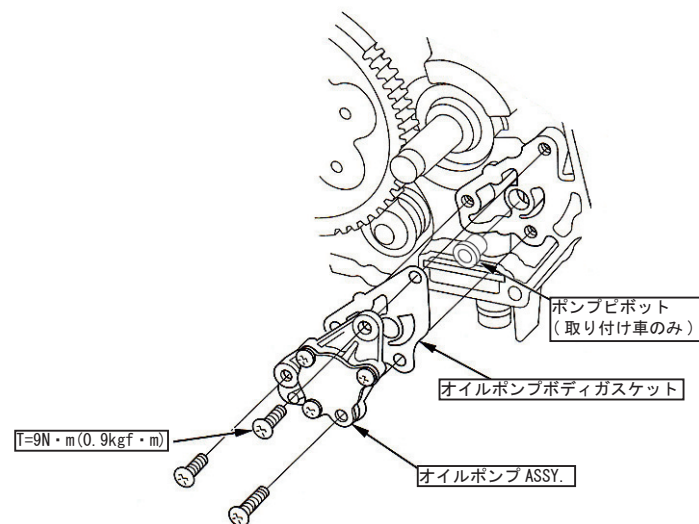
株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル: 0721-25-8857

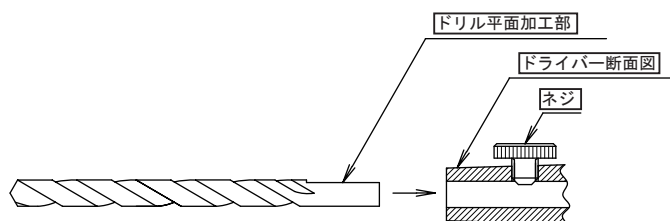
1. エンジンオイルを抜き取り R. クランクケースカバーのボルト 8 本を緩めて、R. クランクケースカバーを取り外します。
2. オイルスルー、オイルスルースプリング、クラッチリフタレバー、ボールリテーナ、リフトスプリング、リフトカムプレートを取り外し、スクリュー 4 本を取り外してクラッチアウトカバーを取り外します。
(スクリューが緩みにくい場合は、インパクトドライバの使用をお勧めします。又、ネジ穴がナメないようにスクリューに合ったドライバを使用して下さい。)
3. ロックワッシャの爪をマイナスドライバ等で起こします。クラッチ ASSY. をローターホルダー等で固定し、ロックナットをロックナットレンチを使用して取り外します。
4. ロックワッシャ B、ロックワッシャを外してクラッチ ASSY. を取り外します。



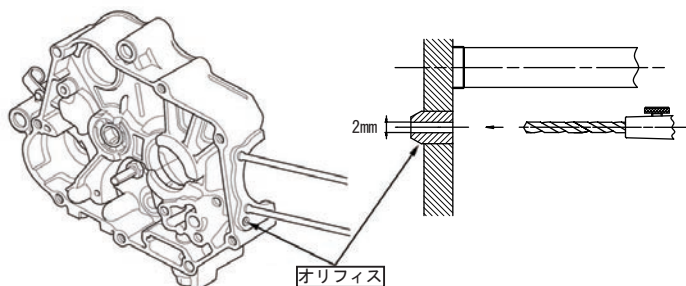
5. オイルポンプのスクリュー 3 本を緩めてオイルポンプ ASSY. とオイルポンプボディガスケットを取り外します。
(スクリューが緩みにくい場合は、インパクトドライバの使用をお勧めします。)



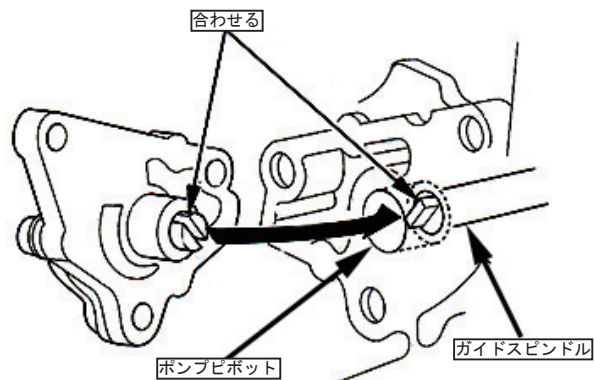
6. ミニチュアドリルドライバーを組み立てます。(01-16-0055 の場合)
※ドリルの平面加工部とドライバー側のネジ部が同じ位置に来る様、下図を参考にし取り付け下さい。
※ドリルはドライバーのネジで外れない様、手で締めて下さい。



7. R. クランクケースのオリフィス穴を 2mm のミニチュアドリルドライバーセット等を使用し拡大します。
(穴は真っ直ぐにあげ、2mm 以上にはしないで下さい。)



8. 切粉等を圧縮空気を吹いて完全に取り除きます。
※切粉等がエンジン内部に混入すると、エンジントラブルの原因となります。
切粉等は完全に取り除き、エンジン内部に残らない様にして下さい。
9. スーパーオイルポンプ取り付け面よりローター部分に少量のエンジンオイルを注入します。オイルポンプにガスケットを取り付け、オイルポンプピボットがクランクケースに入っている事を確認して(取り付け車のみ) ポンプシャフトの切り欠きをガイドスピンドルの突起に合わせオイルポンプをクランクケースに取り付けます。スクリュー 3 本を規定トルクで締め付けます。



10. クラッチ部品や R. クランクケースカバーを取り外しと逆手順で組み付け、シリンダー、シリンダーヘッドを取り付けます。

旧スペシャルクラッチを使用の場合は、R. クランクケースカバーの加工が必要となる物があります。

必ず干渉の有無を確認し、干渉がある場合、下記要領で加工を行って下さい。

1. オイルポンプ取り付け後、下図の矢印部分のスクリーヘッド部に光明丹を塗布します。
2. クランクケース 2 箇所ノックピンを入れガasketを付けずにR. クランクケースカバーをクランクケースに取り付けます。
この時、干渉するR. クランクケースカバーの場合、クランクケースとの合わせ面にすき間が出来ます。
3. 光明丹を付着させる為にカバーを軽く押さえてから取り外します。
カバー内部のスクリー干渉部分に光明丹が付いている事を確認します。
4. 光明丹が付着した部分をリューター等でケース合わせ面のすき間がなくなるまで徐々に削ります。約 1.5mm 削った状態ですき間が出来る場合は、スクリーヘッド部を削って下さい。
(切粉等がエンジン内部に入らないよう注意して下さい。)
5. 合わせ面にすき間がない事を確認しガasketを取り付けクラッチカバーを組み付けます。

